

## 留学生就職促進プログラム 中間評価所見

大学名：北海道大学

### ○「留学生就職促進プログラム委員会」における所見

#### 1. 全体の進捗状況，取組と就職率向上の見通し

○一部計画を下回る取組がある。

平成30年度の国内就職率は計画時に設定した指標を下まわっており，令和3年度に目標の就職率が達成できるか未知数である

プログラムとして独自の取組や体制が十分に作り上げられていないようである。今後どのように留学生の道内での就職につなげていくのか，他の実施機関を参考にするなど，積極的に取り組む必要がある。

#### 2. プログラムの内容の進捗状況

○一部計画を下回る取組がある。

プログラムを進めるに当たって柔軟に対応することは否定されないが，現時点で期待される成果が得られていないことから，計画書に記載している取組内容を着実に進めることが必要である。その上で，課題となっている文系の留学生に対するサポートをさらに充実させていくための仕組みを構築することが重要である。

#### 3. 実施体制の構築，活動状況

○一部計画を下回る取組がある。

自治体，経済団体，企業との連携について十分な連携が見られない。また，コンソーシアムへの参加に関してハードルが高いように思われる。今後，道内企業との連携を積極的に模索するとともに，体制を含め抜本的に見直しを図ることも必要と考えられる。

#### 4. 他大学が参考にできる事項等

○特記事項なし。